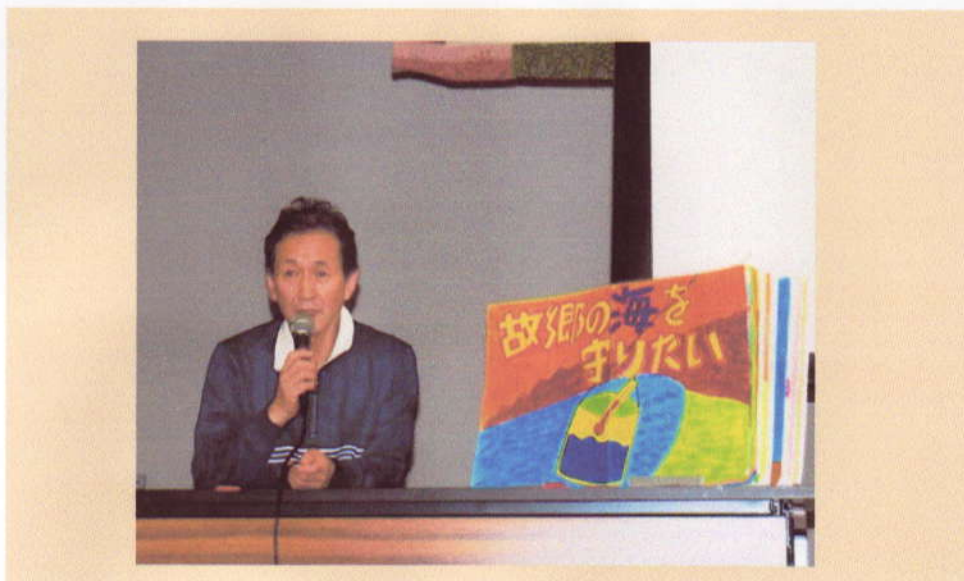


## 原発と子どもたちの未来

齊藤武一（さいとう・たけいち）氏のプロフィール

1953年、北海道岩内郡岩内町生れ、元保育士。現在、学習塾経営、市民団体「岩内原発問題研究会」代表。1978年、25歳より岩内港防波堤にて毎日、海水温を35年間観測。現在も観測中。

著書：『海の声を聞くー原子力発電所温排水の観測25年』2003年、七つ森書館。『木田金次郎ー山は空へモレアガル』（画家の生涯）2007年、北海道新聞社。『理想の保育園ー障がい児は神様』2009年、文芸社ビジュアルアート。



**開催日**：2012/3/10(土)

**開催時間**：14：00～16：00

**場所**：長沼町図書館

**問い合わせ先**：0123 - 84 - 2864 ポロナイクリニック

主催・後援

主催：ポロナイクリニック  
共催：日本森林保健学会  
後援：長沼町教育委員会

# 大人に伝えたい事

愛媛県 小学校5年 鷺野天音 (2009)

僕が住んでいる愛媛県には原子力発電所があります。

去年、僕が5年生のとき、その原子力発電所に、フランスからMOX燃料が着ました。プルサーマル発電のためです。

プルサーマル発電と言うのは、広島原爆ウラン（一般原子力発電所の燃料）と長崎原爆プルトニウム（高速増殖炉の燃料）を一緒に分裂させて、タービンをまわす発電です。プルトニウムもウランも危険な放射線を持っています。放射線と言うものは、細胞の中の遺伝子をバラバラにしてしまうもので、ガンや白血病の原因になります。広島や長崎には、まだ今も後遺症で苦しんでいる人がいます。それなのに、日本は世界で第三位の原子力発電の国です。しかも、第三位の火山国です。火山国だということは、地殻変動もよく起こります。もし、地震が起きたらどうなるのでしょうか。日本に原子力発電所は望ましいのでしょうか。もし、なにも起こらなかったとしても、未来に核のゴミとして残ってしまいません。

CO2を出さないと言う理由で、原子力発電所がさらに新しく立とうとしています。新しく作ると綺麗な海を埋め立てて沢山の命を奪い、住むところをなくします。それに原子炉を冷やすために、一秒で70tの海水を7度上げて海に戻す事になります。もう、これ以上僕達の世界をこわすのは、やめてください。僕達子供も、あと何年かすれば、大人になります。僕達の未来に汚れた海や山、空気や水、核のゴミを残さないで下さい。

僕達の未来に残してほしいのは、生き物の暮らせる森、川、命、希望、そして、大きくなったら、こんな事をしたいという夢が叶えられる社会です。

地球の体積の99%は1000度以上あります。発電で言えば、この地球の中の熱を使う、地熱発電がいいと僕は思っています。ぼくも一緒にやるので、大人の人にも勉強してほしいです。

## 『大人の人にやってほしい事』

- やりはじめたことの責任をとること。
- 前に人のやった無責任を、解決するようにかんばること。
- こわれてしまった自然を元に戻す努力をすること。
- それから、これ以上自然を壊さないこと、です。

未来に続く命のために美しい地球をつくりましょう。  
よろしくお願ひします。

『アヒンサー 未来に続くいのちのために原発はいらない 第1号』

PKO法「雑則」を広める会・編/ より引用